

2019年8月5日

上場会社名 ヒビノ株式会社

上場取引所 東

 コード番号 2469 URL <https://www.hibino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員ヒビノGMC経営企画本部長 (氏名) 大関 靖

TEL 03-3740-4391

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,042	41.5	176	—	161	—	97	—
2019年3月期第1四半期	6,391	6.5	△212	—	△178	—	△150	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 34百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △115百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.79	—
2019年3月期第1四半期	△15.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	30,908	9,865	31.5
2019年3月期	32,422	10,007	30.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 9,748百万円 2019年3月期 9,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,500	27.4	400	△22.3	450	△32.0	280	△28.7	28.11
通期	43,500	28.3	1,800	25.8	1,800	4.4	1,000	2.4	100.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	10,265,480 株	2019年3月期	10,265,480 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	305,928 株	2019年3月期	305,928 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	9,959,552 株	2019年3月期1Q	9,974,124 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響が懸念され、先行きの不透明感は増しております。

このような状況のもと当社グループ(当社と連結子会社20社)は、中期経営計画「ビジョン2020」(2019年3月期～2021年3月期)において、「音響」「映像」「音楽」「ライブ」の分野でナンバーワン、オンリーワンの企業が集まり、連携する仕組みをつくる「ハニカム型経営」に取り組んでおります。当第1四半期には、ホールやスタジオの建築音響、商業施設や事業施設の防音対策及び鉄道や道路の騒音に対する防音対策に強みを持つ日本環境アメニティ株式会社(旧 日本板硝子環境アメニティ株式会社)を連結子会社化いたしました。

当第1四半期連結累計期間は、当該新規連結に加え、Sama Soundグループ、株式会社テクノハウス及びTLS PRODUCTIONS, INC.の通期連結による寄与がありました。また、東京オリンピック・パラリンピックに向けた施設整備需要、旺盛なコンサート・イベント需要を追い風に各事業で大型案件の獲得に成功したことから、前年同四半期と比べ増収増益となりました。

これらの結果、売上高9,042百万円(前年同四半期比41.5%増)、営業利益176百万円(前年同四半期は営業損失212百万円)、経常利益161百万円(前年同四半期は経常損失178百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益97百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失150百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法及び名称を変更しております。また、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。業績における前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の区分方法、名称及び算定方法に組み替えて比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

[電気音響・販売施工事業]

電気音響・販売施工事業は、Sama Soundグループ及び株式会社テクノハウスの通期連結に加え、放送局市場、ホール市場における大型案件の獲得や、売上の基礎となる流通商品の販売伸長により、売上高は前年同四半期を上回りました。利益面においては、施工を伴う大型案件の多くを第4四半期に見込んでいることから、当第1四半期連結累計期間において損失が発生しておりますが、概ね計画通りに推移しております。

これらの結果、売上高3,509百万円(前年同四半期比46.4%増)、セグメント損失117百万円(前年同四半期はセグメント損失139百万円)となりました。

[建築音響・施工事業]

建築音響・施工事業は、日本環境アメニティ株式会社の新規連結等により、売上高及び利益は前年同四半期を上回りました。

これらの結果、売上高1,783百万円(前年同四半期比70.2%増)、セグメント利益98百万円(前年同四半期はセグメント損失88百万円)となりました。

[映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、東京オリンピック・パラリンピック関連施設や東京・南町田駅周辺の再整備に係る案件を手掛け、売上高は前年同四半期と比べ増加いたしました。販売費及び一般管理費の増加等により利益は減少いたしました。

これらの結果、売上高266百万円(前年同四半期比4.6%増)、セグメント損失6百万円(前年同四半期はセグメント利益10百万円)となりました。

[コンサート・イベントサービス事業]

コンサート・イベントサービス事業は、大型のコンサートツアーが例年以上に多く、案件数、案件単価ともに向上いたしました。また、大型国際会議において映像・音響システムの運用を担当したことに加え、スポーツ、企業イベント及びコンベンション市場も順調に進捗し、当社グループの収益を牽引いたしました。

アメリカ市場においては、TLS PRODUCTIONS, INC.の通期連結及びH&X Technologies, Inc.の売上伸長が寄与しました。両社はニューヨーク国際オートショー案件をともに獲得するなど、シナジーを発揮しております。

これらの結果、売上高3,347百万円(前年同四半期比29.0%増)、セグメント利益514百万円(同69.5%増)となりました。

[その他の事業]

その他の事業は、業務用照明機器の販売、システム設計・施工・メンテナンスを行っております。

売上高135百万円(前年同四半期比40.0%増加)、セグメント利益17百万円(前年同四半期はセグメント損失6百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は30,908百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,514百万円減少しました。これは現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が減少したことが主な要因であります。

負債合計は21,043百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,372百万円減少しました。これは短期借入金、未払法人税等及び賞与引当金が減少したことが主な要因であります。

純資産合計は9,865百万円となり、前連結会計年度末と比べて141百万円減少しました。これは利益剰余金及び為替換算調整勘定が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が計画を上回って推移しておりますが、2019年5月13日に「2019年3月期 決算短信」にて公表しました数値に変更はありません。なお、今後の業績動向を踏まえ、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,775,300	2,962,746
受取手形及び売掛金	10,001,396	8,737,249
商品及び製品	3,698,823	3,890,709
仕掛品	482,989	521,129
原材料及び貯蔵品	67,928	71,778
その他	971,469	821,953
貸倒引当金	△54,455	△48,603
流動資産合計	19,943,452	16,956,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,995,355	2,052,960
減価償却累計額	△1,147,369	△1,201,128
建物及び構築物(純額)	847,986	851,831
機械装置及び運搬具	14,861,021	15,093,595
減価償却累計額	△10,375,278	△10,735,984
機械装置及び運搬具(純額)	4,485,742	4,357,611
工具、器具及び備品	1,596,096	1,785,347
減価償却累計額	△1,249,775	△1,385,974
工具、器具及び備品(純額)	346,320	399,372
リース資産	1,568,570	1,627,884
減価償却累計額	△977,236	△1,008,225
リース資産(純額)	591,334	619,658
その他	1,435,267	1,830,749
有形固定資産合計	7,706,650	8,059,223
無形固定資産		
のれん	1,688,298	2,659,863
その他	341,493	350,078
無形固定資産合計	2,029,792	3,009,941
投資その他の資産		
その他	2,769,492	2,909,672
貸倒引当金	△26,823	△27,252
投資その他の資産合計	2,742,669	2,882,420
固定資産合計	12,479,112	13,951,585
資産合計	32,422,565	30,908,548

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,088,108	3,137,005
短期借入金	5,660,386	4,658,505
1年内返済予定の長期借入金	2,139,120	2,181,600
リース債務	246,754	243,533
未払法人税等	494,388	117,273
賞与引当金	675,667	342,679
その他	1,649,304	2,046,966
流動負債合計	13,953,729	12,727,562
固定負債		
長期借入金	5,517,490	5,243,410
リース債務	469,333	493,830
退職給付に係る負債	2,223,386	2,364,258
資産除去債務	98,107	98,238
その他	153,281	115,994
固定負債合計	8,461,598	8,315,732
負債合計	22,415,327	21,043,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,748,655	1,748,655
資本剰余金	2,053,812	2,053,812
利益剰余金	6,281,300	6,204,477
自己株式	△165,836	△165,836
株主資本合計	9,917,930	9,841,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,134	12,375
繰延ヘッジ損益	288	△665
為替換算調整勘定	18,236	△56,665
退職給付に係る調整累計額	△47,975	△48,137
その他の包括利益累計額合計	△16,316	△93,091
非支配株主持分	105,622	117,236
純資産合計	10,007,237	9,865,252
負債純資産合計	32,422,565	30,908,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,391,368	9,042,422
売上原価	4,377,961	5,868,226
売上総利益	2,013,406	3,174,195
販売費及び一般管理費	2,225,792	2,997,207
営業利益又は営業損失(△)	△212,386	176,988
営業外収益		
受取利息	534	1,210
受取配当金	1,722	1,938
保険解約返戻金	24,386	33,458
その他	27,547	15,628
営業外収益合計	54,190	52,236
営業外費用		
支払利息	12,513	23,714
為替差損	7,346	41,860
その他	767	1,872
営業外費用合計	20,627	67,447
経常利益又は経常損失(△)	△178,822	161,777
特別利益		
子会社株式売却益	17,509	-
特別利益合計	17,509	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△161,313	161,777
法人税等	△11,061	45,454
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△150,252	116,323
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	18,853
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△150,252	97,469

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△150,252	116,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,067	△758
繰延ヘッジ損益	11,215	△954
為替換算調整勘定	19,294	△79,702
退職給付に係る調整額	1,654	△161
その他の包括利益合計	35,232	△81,576
四半期包括利益	△115,019	34,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△115,019	20,693
非支配株主に係る四半期包括利益	-	14,052

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気音響 ・販売施工 事業	建築音響・ 施工事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント サービス 事業	その他の 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	2,396,705	1,047,580	255,213	2,595,342	96,526	6,391,368	-	6,391,368
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	48,086	3,035	57,074	44,706	8,924	161,826	△161,826	-
計	2,444,791	1,050,615	312,287	2,640,048	105,451	6,553,194	△161,826	6,391,368
セグメント利益 又は損失(△)	△139,719	△88,705	10,061	303,726	△6,349	79,014	△291,400	△212,386

(注) 1. セグメント利益の調整額△291,400千円には、セグメント間取引消去△5,659千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△285,741千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気音響 ・販売施工 事業	建築音響・ 施工事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント サービス 事業	その他の 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	3,509,787	1,783,098	266,932	3,347,507	135,097	9,042,422	-	9,042,422
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	51,242	1,300	9,529	61,499	16,380	139,950	△139,950	-
計	3,561,029	1,784,398	276,461	3,409,006	151,477	9,182,373	△139,950	9,042,422
セグメント利益 又は損失(△)	△117,563	98,072	△6,547	514,859	17,279	506,100	△329,112	176,988

(注) 1. セグメント利益の調整額△329,112千円には、セグメント間取引消去19,713千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△348,825千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、日本環境アメニティ株式会社を連結子会社化したことに伴い、従来の「音響機器販売・施工事業」に含まれておりました「建築音響・施工事業」における量的な重要性が増したため、「音響機器販売・施工事業」を「電気音響・販売施工事業」と「建築音響・施工事業」の2つのセグメント区分に変

更しております。また、従来の「コンサート・イベント事業」は、「コンサート・イベントサービス事業」に名称を変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

上記の報告セグメントの区分変更に伴いグループ管理手法を見直し、セグメントの業績をよりの確に測定することを目的に、販売費及び一般管理費のうち管理費用の一部において配賦方法を変更し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法、名称及び算定方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建築音響・施工事業」セグメントにおいて、当社は、2019年4月1日に、日本板硝子環境アメニティ株式会社(2019年6月1日付で「日本環境アメニティ株式会社」に商号変更)の株式を取得し、連結子会社化いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,094,825千円であります。